

經濟論叢

第六十一卷 第四號

ユスツス・メエゼル 出口 勇藏

國有鐵道の經濟的基礎 島 恭彦

ソヴェト同盟の貨銀 木 原 正 雄

京都大學經濟學會

年初に計畫し、班および組により遂行された労働と、労働日計算の正確性を嚴重に統制することを要請されたのである。

一九三九年三月八日附黨中央委員會および人民委員會議の決議により、農耕の基礎的生產過程において重要な意義をもつてゐるトラクターおよびコンバイン運轉手の作業にも労働報酬の社會主義的原則が適用され、トラクター、コンバインの優秀な利用、作業の質的向上、高收穫率の確保および運轉手の物的關心を高めるために多くの手段が講じられた。一九四七年黨中央委員會二月幹部會において、收穫増大に對するトラクター運轉手の責任と個人的關心および質的改善を計るため、一九四七年よりトラクター作業班の報酬規定を左のように決定した。すなわちトラクター作業班により耕作されたコルホーズ耕地における收穫計畫を遂行した場合、トラクター運轉手、班長、班長助手、調整手に對しては一労働日最少保證として、三キログラムの穀物を給與し、未遂行の場合には最少二キログラムの穀物を給與することにした。

ソヴェト同盟においては、もとより労働報酬の方法決定は決して順調な道を歩んできたのではない。多くの困難の上にもまた幾多の失敗を重ねながらその改善にちゆうちよすることなく打ち立てられてきたのである。そうして社會主義社會における労働者の個人的な利害と社會的な利害とが一致融合するような、社會主義社會に固有の經濟原則にもとずいて、數百萬人の創意

ソヴェト同盟の貨銀

を活用し、生産力の急速な發展のをめに國力の増進を期すのである。

本號執筆者紹介

出口勇藏	京都大學助教授
島恭彦	京都大學助教授
木原正雄	京都大學助手

京都大學經濟學會役員

(五十音順)

評議員長 靜田均
評議員 青山秀夫

岸本誠二郎
佐波宣平

靜田均
島恭彦

田杉競
出口勇藏

豐崎稔
中谷實

穂積文雄
堀江英一

堀江保藏
松井清

山岡亮一

昭和二十二年九月五日發行
昭和二十二年十月一日發行

編輯兼發行所
松尾哲彦
京都市左京區田中里ノ内
町一三

印刷人

鈴木直樹
京都市中京區壬生花井町
三

印刷所

日本寫眞印刷株式會社
京都市中京區壬生花井町
三

發行所

京都大學經濟學部内
京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番
日本出版協會會員
番號B一一一〇五六號

發賣所

有斐閣
本店 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
電話九段(33)一〇三二三番
振替口座東京三七〇番

支店 京都市左京區吉田
牛ノ宮町三番地

配給元

日本出版配給株式會社
東京都千代田區神田
淡路町二丁目九番地

本誌の購讀及び廣告はすべて有斐閣へ御申込み下さい

(禁轉載)